

第 48 期(2019 年度)

事業計画書

自 2019 年 4 月 1 日

至 2020 年 3 月 31 日

公益財団法人 資生堂社会福祉事業財団

I. 基本方針

社会的養護のあり方について、2016年の児童福祉法改正により、児童養護施設中心の養育から家庭に近い環境での養育を優先する方針が明確化されました。今後、その流れを受けて、わが国の児童福祉のあり方は大きく変化していくことが想定され、当財団としてもそのような変化に柔軟に対応し活動を進化させることが求められます。

一方、全国の児童相談所における児童虐待相談対応件数は引き続き増加の一途を辿り、子どもたちが直面する現実の厳しさを増しています。設立当初から、次世代を担う子どもたちの健全な育成のための支援や福祉の向上を目的に、児童福祉施設職員の方々を育成する研修や助成活動を推進してきた当財団が社会から求められる役割はますます大きくなっています。そのような環境において、当財団は、本業において社会価値と経済価値の両方を創造する様々な取り組みを進める資生堂グループや協賛企業と連携して、児童養護における課題を解決する活動を進めてまいります。

II. 事業計画の内容

引き続き、研修、助成、啓発の3つを事業領域とし、昨今の家庭的養護を優先する動きを見据えながら、地域におけるチーム養育支援の新規活動を検討するなど、変化する環境に対応した新たな活動の検討を進めます。

(1) 研修事業

① 児童福祉分野で働く職員に向けた海外研修

児童福祉領域における知見を強化することは重要であり、特に過去43年間継続している資生堂児童福祉海外研修は非常に重要な役割を果たしています。同研修は今までに約700名の研修修了者を輩出しており、児童福祉領域におけるリーダーの育成や業界全体としての専門知識の底上げに寄与していることから、今年度も継続して実施します。

資生堂児童福祉海外研修	実施日 2019年9～11月(研修期間13日) 研修国 ベルギー・ポーランド テーマ 子どもの権利擁護
東アジア児童福祉職員交流研修	実施日 2019年11月 場 所 韓国・ソウル テーマ 児童を地域でどう保護していくべきか(仮)

② 児童または青少年に向けた研修

児童養護施設や里親のもとで暮らす子どもたちが、18歳で施設や里親の元を巣立つにあたり、環境の変化に順応できるように自立を支援する研修を行っています。資生堂が持つ資産を活かした活動であること、児童からの参加希望が年々増加していること、などから引き続き優先順位の高い活動と位置付け、協賛企業と協働しながら活動を強化します。

身だしなみ講座	実施日 2019年4月～2020年3月 場 所 全国7～8カ所 内 容 社会人として相応しいスキンケア・メーキャップ、スーツの着こなし方に関する講座の開催
スターターズセミナー	実施日 2019年4月～2020年3月 場 所 全国4カ所 内 容 自立して生活するために必要な、金銭・就労・住居・コミュニケーション等の社会的スキルに関するセミナーの開催
社会への巣立ち フェスティバル	実施日 2020年3月 場 所 未定 内 容 社会的養護を離れる児童の巣立ちを祝福する会の開催と、社会人として相応しい身だしなみや、先輩の体験談等の講座の実施

(2) 助成事業

① 個人・団体に対する助成

社会的養護に置かれている子どもたちを支援する団体の中から、当財団の目指す方向性が一致する団体の活動へ助成を行っています。なかでも、当財団の資生堂児童福祉海外研修のOB会から結成された「NPO STARS」は、現場や子どものことを最も熟知した人材が多数所属する集団で、STARSとの連携は今後の財団にとっても重要であることから今年度も継続して助成します。

STARS セミナー	主 催 NPO STARS 開催日 2019年6月 場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター 内 容 児童養護施設新任職員研修講師養成講座(仮)
子どもの仕事フェスティバル	主 催 NPO STARS 開催日 2019年5月19日、6月1日 場 所 名古屋(5月)、東京(6月) 内 容 シンポジウム、施設紹介、就職説明会ブース
家庭養育機能支援 子育てワークショップ研修会	主 催 日本キリスト教児童福祉連盟 開催日 2019年9月 場 所 資生堂湘南研修所 内 容 基調講演、ロールプレイング研修
全国児童家庭支援センター協議会 実務者研修	主 催 全国児童家庭支援センター協議会 開催日 2019年7月 場 所 東京 内 容 家庭支援のための包括的アセスメント、家族支援のための具体的アプローチ

全国里親功労表彰	2019年度の全国里親大会において、優秀な里親表彰に助成
児童虐待防止に向けた セミナー・イベント	児童家庭支援センターが主催する「子育てセミナー」8カ所、「オレンジリボンキャンペーン」3カ所に助成

② 児童または青少年に向けた助成

児童福祉施設や里親の元から自立し、社会福祉士や保育士など児童福祉分野での活躍を希望して大学・短期大学・専門学校に進学している学生13名に対し、授業料の一部として年間50万円(上限)を返済不要で支援します。

資生堂児童福祉奨学金	4年生大学8人、2年生短大3人、専門学校2人、計13人に給付
------------	--------------------------------

(3) 啓発事業

○情報誌「世界の児童と母性」の発行

児童福祉に関する研究発表の場の提供や、児童福祉の現場の課題解決に繋げるための情報提供を目的とする情報誌「世界の児童と母性」を発行します。1975年の創刊以来、児童福祉分野の有識者や経験豊富な実務者に参画いただき、施設で働く方々への有益な情報を提供してきました。今年度も、変わりつつある児童福祉を取り巻く環境を見極め、より時代に合った内容や構成を目指します。

「世界の児童と母性」85号	「世界の児童と母性」86号
発行時期：2019年4月 発行部数：2800部 特集テーマ：「生命(いのち)の重み」	発行時期：2019年10月 発行部数：2800部 特集テーマ：「甘えと社会的養護」(仮)

Ⅲ. 2019 年度事業費支出及び管理費支出予算

(単位:万円)

事業領域	個別事業名	2019 年度
研修	資生堂児童福祉海外研修	1,825
	東アジア児童福祉職員交流研修	266
	身だしなみ講座	700
	スターターズセミナー	
	社会への巣立ちフェスティバル	260
助成	STARS セミナー	220
	子どもの仕事フェスティバル	
	家庭養育機能支援子育てワークショップ研修会	13
	全国児童家庭支援センター協議会実務者研修	64
	全国里親功労表彰	58
	児童虐待防止に向けたセミナー・イベント	462
	資生堂児童福祉奨学金	740
	その他協賛	40
啓発	児童福祉情報誌「世界の児童と母性」	600
その他	コミュニケーション機能強化	568
	デジタルアーカイブ	200
	事業共通費	280
	事業人件費	5,111
	事業支出合計	11,407
管理費	業務委託費	90
	役員報酬	190
	会議費	70
	旅費交通費	35
	通信運搬費	5
	減価償却費	35
	消耗品費	5
	賃借料	306
	雑費	266
	管理人件費	875
	管理費支出合計	1,877
	事業費支出・管理費支出合計	13,284

IV. 資金の管理

当財団では、公益財団法人資生堂社会福祉事業財団 定款第 12 条 2 項の規定に基づき、特定費用準備資金等取扱規則により厳格に管理しています。当財団の主な収入は、株式会社 資生堂による配当とその運用、社員と社員 OB の寄付「花椿基金」で賄われており、適正かつ適法に資金を管理するため、当財団が行う全ての活動は、理事 9 名、監事 2 名、評議員 12 名の決議により決裁を得て事務局が実施してまいります。

以上